



しんじゅ

No. 38 発行所：社会福祉法人 しんじゅ
2026年1月15日 発行人：猪坂 一彦

本部事務所
ホーリーツリー東部
たおじ分室
ホーリーツリー西部
ホーリーハウス
ステーションしんじゅ
福祉の店「いたやど」
ホーリー須磨
ホーリーピンゴ

〒739-5350 神戸市須磨区須磨木町1-1-6
〒821-1586 神戸市灘区備後町3-2-22
〒987-2532 神戸市北区有野町有野字白原3689
〒739-5360 神戸市須磨区須磨木町1-1-6
〒751-6760 神戸市須磨区須磨木町1-1-29
〒739-5390 神戸市須磨区須磨木町1-1-6
〒731-3340 神戸市須磨区須磨木町1-1-29
〒733-2477 神戸市須磨区大黒町2-2-12
〒739-5359 神戸市須磨区須磨木町1-1-6
〒846-1812 神戸市灘区備後町3-2-22

※ホームページ <https://www.shinju.or.jp>



巻頭言

【去年今年（こぞことし）】

理事長 猪坂 一彦

新年あけましておめでとうございます。
私の幼い頃、年令を数え（数え年）という習慣がまだ残っておりまして。生まれたときは1歳、年が変わって1月1日にはもう2歳。正月を迎えるたびに1つ年を取りました。

満年齢が当たり前になるまでは、0歳児などという言葉は使われなかったと思います。
数え年は、今では伝統行事が仏教儀式でしか使われないようですが、正月に1つ年を取るということとは、体の機能や組織は大晦日から元旦へのたった1日の進行でしかありませんが、心気はその1日を超越し、希望をもつて今年こそ充実した年にしようにと、昨年を清算しリセットすることです。

1月の計は元旦にありということではありません。
満年齢の合理性は納得しつつも、数え年を捨てるに忍びない所以です。
心機一転、今年に踏み出していきましよう。

・去年今年 貫く棒のようなもの（高浜虚子）

悠久の時を経た建造物は、柔軟な構造と強固な基礎に支えられています。1年の計を立てるには、柔軟な構想とともに強固な基礎がなくてはなりません。
この句はいろんな読み方ができるのでしようが、私は、去年と今年を貫く棒は、社会福祉法人しんじゅの理念と解釈しています。

一、愛情をもってふれあい 共生の中で人間性豊かな人生を築こう
二、安全で 安心して生活できる場を実現しよう
三、自由で 尊厳ある人生を全うしよう

去年と今年を貫くこの理念をもって、数年来の課題に取り組んでまいります。
社会福祉法人しんじゅの理念という強固な基盤の上に、柔軟な構造物を造るのです。

先般、所用でホーリーツリーの2階に行つた時、ホーリーハウスの引継ぎミーティングに出くわしました。そこでは、社会福祉法人しんじゅの理念を唱和していました。

次年度からは、会報の趣を少し変え、毎月三施設長の所信を掲載することに致します。どうかご期待下さい。

謹賀新年



ホーリーツリー西部 就労継続支援B型事業所
利用者と職員とのコラボレーション作品
今年の干支「午」
作品右上の水引は「あわじ結び」
利用者が丹精込めて結び上げました。

事業所紹介 「ホーリーツリー東部たおじ分室」

（平成10年創設
当時は「たおじ作業所」）

会報No33 で創設25周年をお知らせしましたが、改めてその活発な活動ぶりを報告致します。

篠原 英剛

春からみんなで作ってきた「干支飾り」



【たおじ行事録】

- 7月 「熱々冷々グルメツアー」と称し、カレーとご当地アイスを求めて三木市ぶらり旅。
- 8月 たおじ分室で一番熱い一日「スペシャル夏祭り」を開催！夏祭りにちなんだ3種のゲームで夏男・夏娘を決めた後は焼肉パーティ。地域のパン屋「パンプキン」さんのオリジナルパンをみんなで考え、2種商品化されて店頭に並び、みんなでそのパンを買いに行きました。
- 9月 今年大規模リニューアルした神戸青少年科学館でプラネタリウムを満喫。
- 10月 宝塚グリア園を見学し、汗を流して黒枝豆&さつまいもを収穫しました。
- 11月 たおじメンバーみんなが1人1点作品を制作し三田市図書館作品展に出席。特別展示室のガラスケースの中に展示されプロの作家になった気分を味わいました。体験型ミュージアム「カワサキワールド」・「ダスキンミュージアム」も見学しています。「フルーツフラワーパーク」のイルミネーションも見てきました。
- 12月 春からみんなで作ってきた干支飾りが完成したので、地域の方に年末挨拶回りでお配りしました。Enjoy があふれるたおじ分室です。



研修

「持ち上げない介護と立位・移乗介助」

講師：一般社団法人 幸せ介護創造ファクトリー 高山 彰彦氏

ホーリーハウス 黒河 希世

ホーリーハウスとステーションしんじゅの合同研修として、今回初めて外部から講師をお招きして11月28日（金）に表題の研修を受講しました。

幸せ介護創造ファクトリーの高山さんから、持ち上げない介護と立位・移乗介助を学んで、介護者の身体に負担がかかっている事を改めて感じました。

ボディメカニクスを学び、実践しているほとんどの人が腰を痛めています。高山さんは、立位が出来る利用者さんの立位介助には、まず準備段階が肝腎で、座位を浅くして、足を引いてもらうことによって前傾姿勢になりやすくなり、さらに膝を伸ばせば、立ち上がりやすく立位が安定するという事を教えて頂きました。

介護者の立つ位置、重心が足に乗るようにすることで、身体への負担が減る。利用者さんにも、介護者にも安心・快適な介護技術を学ぶことができました。

体重差や体格差があっても、お互いに負担がなく続けられる事は大切だと思いました。

これからの介助で実践できるように動画や本を見返していきたいです。

感謝

令和7年8月12月の間に尊い寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げます。
宮前 幸子さま 宮脇 尚志さま
加藤 千鶴子さま 黒田 素美子さま
東郷 賢治さま



研修風景

事業所だより 外出・行事など

ホーリーツリー東部

森 小弓里

【秋の遠足 in アトア】

今年度、東部の遠足はアトアで、火曜日と木曜日に行ってきました。昨年度までは少人数での遠足でしたが、今年は曜日ごとの全員で出掛けました。

気候も良く、玄関前の大きなススキを見ていると秋の訪れを感じます。

到着してまずは腹ごしらえです。

上を見上げると水槽の見えるフードホールで、いつもとは違う雰囲気の中、大きな口でオムライスを頬張る方、ラーメンをべろりと平らげる方など、皆さんランチを堪能されました。

そしていよいよメインの水族園へ。

アトアはデジタルアートが融合する劇場型水族園です。

部屋一面に映し出される映像に圧倒される方や、巨大な球体の水槽の前でうっとり魅了される方もいらっしゃいました。

4階には癒しのカピバラやペンギンなどがおり、一緒に写真を撮りました。帰りの土産コーナーではたくさん悩みなながらも、動物のキーホルダーやクッキー、Tシャツなど思い思いの品を買って、楽しい一日はあっという間に過ぎていきました。来年も皆でまた新しい体験や発見があればと思います。



ホーリー須磨

職員紹介

大友 幸

令和6年8月19日付けで、ホーリー離宮から相談支援事業所 ホーリー須磨に異動になり1年4か月近くになりました。

ホーリー離宮での直接支援から大きく転換し、では利用者さまの「こんな風に生きていきたい」がかなえられるように、他の事業所とも連携して多方面から支援を考えていく業務に携わっています。

11月に相談支援専門員の資格を取得したばかりで、まだまだ未熟ですが、利用者さま、ご家族様のお力になれるよう精一杯努力してまいります。

ホーリーハウス/ステーションしんじゅ

弘中 萌

【夏祭り】

夏の催し物として、ハウスとステーションの合同で夏祭りを開催しました。

夕食には職員で焼きそばとトン平焼きをつくり、少しでもお祭り気分をと、料理

を盛るトレーにもこだわりました。できあがったトン平焼きはなかなかのボリュームで、ちょっと大きすぎたかな？と心配していましたが、皆さんどなたもパクパクと完食！満足気に「美味しかった〜！」と言ってくださり、私たちも心が満たされたひとときでした。

余談ですが、あまりにも美味しそうに食べてくださるので、思わず自分用にと焼きそばを買って帰ってしまったほどです（笑）

続いて空が暗くなったタイミングで花火大会です。実は「花火怖いねん…」と仰っていた利用者さんがなんんか…。そんな中でスタートした花火大会でしたが、職員のフォローもありながら、写真に収まった表情は緊張した様子で花火を持つ姿、次第に慣れてきたのか笑顔でピースサインをつくったりと、様々な感情で溢れていました。

フィナーレでの打ち上げ花火は、予想以上にバチバチと派手な演出のものがあり、少しハラハラした様子もありましたが、これぞ夏の思い出です。



ホーリーツリー西部

岡本 豪

【こうようをみにいこうよう】

猛暑の夏からめっきり寒くなった今日、皆様いかがお過ごしでしょうか？西部は、暖房の使えない「魔の二週間」を乗り越え、クリスマスを通り越してお正月の準備を始めました。今年も秋らしい期間が短く急激な寒さの中、みんなの水やりのおかげで白菜、ブロッコリーとぐんぐん育っています。

そんな中、紅葉を見に行くぞ！と皆で変わりばんこに車へ乗り込み、奥須磨公園や高倉台の街路樹、六甲山系の裾裾様をドライブや散歩にて楽しみました。今年は風も強く妙法寺公園ではイチョウ吹雪もみられ、ドングリ拾いをしたり紅葉狩りを堪能されています。そんなときのみんなの合言葉は「こうようをみにいこうよう」でした。



職員紹介

石川 淳一

(令和7年10月入職)

10月より入職させていただいている石川です。

興業種の世界から飛び込んで介護という仕事にチャレンジさせてもらっています。何もわからない状態でしたが、職員の方々や利用者の皆さんがやさしく親切に仕事の内容を教えていただけて心から感謝しています。

これからも利用者の皆さんや職員の方々とも明るく笑いある、そして思いやりのある気持ちでやっていこうと思います。

まだまだ分からない事だらけでみなさんに迷惑をかけると思いますが、自分なりに頑張っていきたいと思っています。

どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。皆さん大好きです。

ありがとうございます。

ホーリーツリー離宮

石田 卓也

【季節をたのしむ】

ホーリー離宮では、天気の良い日はプログラムを少し変更してよく外に散歩に出ます。

近隣の公園やコンビニ、少し距離がありますが須磨寺に行くこともあります。みんなで「風が気持ちいいな〜」「今日はポカポカして気持ちいい」など会話しながらゆっくりと行きます。

季節の行事ではハロウィンやクリスマスなどに合わせて壁面を飾ったり、仮装をしたりと季節感を感じながら楽しんでいます。



職員紹介

清水 清美

(令和7年9月入職)

好きなものはギネスビール、絶叫マシン（体の限界を感じて60歳で引退）、夏目友人帳（アニメ）です。

前の職場では看護士の指示の下で働いていました。ホーリーハウスに9月末から勤務させて頂いて、今思うことは責任の重さです。利用者さんのほんの少し変わった様子に気づき、熱があるのではないかと声をかけている先輩を見て痛感しました。先輩たちとしっかりコミュニケーションを取りながら、利用者さんの生活の場をサポートするように努めていきたいと思っています。

訃報

下村 俊子さま

令和7年7月16日逝去
長年に亘りしんじゅの運営に携わっていただきました。ご冥福をお祈りいたします。
去る9月13日の個人を偲んで「五十日祭」が神戸栄光教会で催されました。役員他2名が参列いたしました。慎んでご冥福を祈り申し上げます。